



「たのしい!」「おもしろい!」の音がひびき渡る幼稚園に

園長 本多 郁代

「ママがいい! パパがいい! おうちがいい! おうちが一番大好きなんだ!」
くまきちくんが言いました。それを聞いて、先生が言いました。

「くまきちくんの言う通り。お友達もみんなおうちが一番なのよ。みんなおうちが大好きなの。そしてね、お友達は幼稚園も好きなの。周りを見てごらん。幼稚園は楽しそうな場所がいっぱいあるのよ。だから、くまきちくんも安心して幼稚園に来てください。」

これは、入園式の式辞の中で年少さんに話した内容の一部です。

子どもの健やかな成長を願う時、まず大人がやらなくてはならないことは、子どもの思いをまるごと受け入れること。決して否定せず、子どもが大人に訴えている漠然とした不安などの思いを、まるごと受け入れることから子育ては始まります。教育も同じです。



当たり前のことを言っているように感じるかもしれませんが、これがなかなか難しいのです。なぜなら私たち大人は、ついつい自分の価値観で判断したり、よその子どもと比較したりしがちだからです。子どもの気持ちを理解して寄り添うには、大人も努力が必要です。

今年度結幼稚園では、教職員一人一人が初心にかえり、これまで以上にお子さんの思いや考えに耳を傾け、子どもをまるごと受け入れるところからスタートします。そしてそれと同時に、教師が子どもを見取る力をさらに高めることで、一人一人のお子さんへの適切な援助を見極め、保育をしてまいります。そうすることで、子どもたちの「たのしい!」「おもしろい!」という音がひびき渡る幼稚園を目指します。

子どもたちが大人になるころには、今ある職業の半分はなくなっているだろうと推測される時代がやってきます。目まぐるしく変化する社会の中でも、しなやかにたくましく生き抜いていく子どもたちに育てほしいと願っています。園と保護者の皆様と、子どもを真ん中において同じ方向を見据えることで、子どもたちの成長に繋がっていきたいと考えています。

